

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	電子回路II						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース) / 必修科目(電気エネルギーコース) / 選択必修科目(情報システムコース)						
担当者	喜屋武 毅						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイオード、トランジスタなど各種部品の電気的特性の説明ができる。</li> <li>・電子回路とキルヒホッフの法則との繋がりが説明できる。</li> <li>・演算増幅器の動作と機能を理解し、基本回路や利得計算ができる。</li> <li>・演算増幅器を用いた微分回路や積分回路の計算ができる。</li> <li>・演算増幅器を用いたフィルタの計算ができる。</li> </ul>						
日程と内容	09/17 講義の概要説明と評価法、電圧源と電流源 09/26 R, L, C回路素子と電子回路 10/03 回路素子(ダイオード)の特性と動作原理 10/15 回路素子(トランジスタ)の特性と動作原理 10/17 演算増幅器とその性質、増幅度と利得(ゲイン) 10/24 演算増幅器による反転・非反転増幅回路 10/31 演算増幅器による差動増幅回路・利得計算 + (小テスト1) 11/07 演算増幅器による積分回路・微分回路 11/14 演算増幅器による変形積分、一次遅れ回路 11/21 オペアンプによるアクティブフィルタ回路 11/28 オペアンプによるローパスフィルタ + (小テスト2) 12/05 オペアンプにハイパスフィルタ・コンパレータ回路 12/12 正帰還作用と発振回路 12/19 総合演習1 01/68 総合演習2 + (小テスト3) 01/23 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	30%		100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイオード、トランジスタなど各種部品の電気的特性の説明ができる:概ね達成した。</li> <li>・電子回路とキルヒホッフの法則との繋がりが説明できる:概ね達成した。</li> <li>・演算増幅器の動作と機能を理解し、基本回路や利得計算ができる:概ね達成した。</li> <li>・演算増幅器を用いた微分回路や積分回路の計算ができる:概ね達成した。</li> <li>・演算増幅器を用いたフィルタの計算ができる:概ね達成した。</li> </ul>						
反省点	電子回路を理解する上で重要なキルヒホッフの法則や演算増幅器の回路動作などの部分で苦労している学生が多く、理解度や学習意欲の向上に繋がっていない感があるので、さらに丁寧な説明を心がけたい。						
来年度の計画	授業内容については概ね今年度の計画を踏襲するが、さらに例題解説と演習する時間を確保しながら学生の理解を定着させる工夫を図る。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容の理解を図る項目や興味を引出せているかの項目が評価が低めなので、さらに学生の理解や興味を引く内容を取り込み、講義内容の丁寧な説明と学生の関心を引けるように努力する。						
履修登録者数	69名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	56名	合格率	86%